



よこはま市工連

Yokohama Shikouren

No.88



区の木: ドウダンツツジ(旭区)



区の木: ケヤキ(瀬谷区)



区の木: ウメ(磯子区)



区の木: ヤマザクラ(金沢区・青葉区)



区の木: ハナミズキ(港北区)

(「区の木」写真提供: 公益財団法人 横浜市緑の協会)

目次

令和5年度 横浜市工業会連合会役員等	1
令和5年度 横浜市工業会連合会 事業計画	3
地域工業会 新会長ご挨拶	5
「テクニカルショウヨコハマ 2023」が開催されました	6
令和4年度 新入社員フォローアップ研修	6
令和5年度(第36回)新入社員合同研修	7
地域工業会 事務局訪問	12
「令和5年度横浜市予算に対する産業振興に関する要望について」横浜市からの回答...	13
市工連からのお知らせ	15
合同就職面接会のお知らせ	16
横浜市からのお知らせ	17
協賛企業広告	18

発刊日: 令和5年7月31日

編集・発行: 一般社団法人横浜市工業会連合会

〒231-0023 横浜市中区山下町2番地 産業貿易センタービル2階

TEL. 045-671-7051 FAX. 045-671-7321 URL: <http://www.y-shikouren.or.jp/>

デザイン・印刷: 有限会社双葉印刷所

令和5年度 横浜市工業会連合会役員等

令和5年6月27日（火）メルパルク横浜において令和5年度第1回理事会・定時総会、第2回理事会が開催されました。令和4年度の事業報告・決算報告に加え、令和5年度市工連委員会の委員の選定などすべて承認されました。

理事会終了後には横浜市工業団体役員を表彰が行われ、松村 洋一様と猪鼻 久義様へ横浜市経済局中小企業振興部の益田部長より表彰状が授与されました。また、南事業会の会長を退任された横山 敦子様へ加藤会長より記念品が贈呈されました。

なお、今年は17時から会場を替えて役員懇親会も開催いたしました。



令和5年度横浜市工業会連合会役員名簿

役職名	氏名	工業会・役職	事業所・役職
会長	加藤 卓郎	みなと工業会 会長	株式会社加藤組鉄工所 代表取締役会長
副会長	黒田 憲一	戸塚泉栄工業会 会長	大洋建設株式会社 代表取締役社長
〃	寺嶋 之朗	鶴見区工業会 会長	プリンス電機株式会社 代表取締役会長
〃	稲村 直之	港南区工業会 会長	有限会社稲村建具 代表取締役
〃	松村 洋一	一般社団法人横浜金沢産業連絡協議会 副会長	協立金属工業株式会社 相談役
〃	長谷川 浩正	磯子事業会 会長	日興テクノス株式会社 代表取締役社長
理事	桐ヶ谷 修幸	神奈川工業会 会長	株式会社桐ヶ谷工業所 代表取締役
〃	山本 耕司	南事業会 会長	株式会社マック 代表取締役社長
〃	寺井 享	横浜西部工業会 副会長	寺井印刷工業株式会社 代表取締役
〃	榎本 英雄	横浜市金沢団地協同組合 理事長	海洋電子工業株式会社 代表取締役社長
〃	平 雅吉	一般社団法人横浜北工業会 副会長	三吉工業株式会社 代表取締役
〃	藤澤 秀行	横浜青年経営者会 会長	株式会社ニッソー 代表取締役
〃	星崎 雅代		横浜市経済局長
専務理事	見上 正一		一般社団法人横浜市工業会連合会 事務局長
監事	猪鼻 久義		猪鼻会計事務所
監事	志村 洋一	港南区工業会相談役	鶴見プレス工業株式会社 代表取締役社長

令和5年度横浜市工業会連合会委員会名簿

委員会	役職	氏名	会社名	会社役職
総務委員会	委員長	黒田 憲一	大洋建設株式会社	代表取締役社長
	副委員長	遠藤 昇	横浜ステンレス工業株式会社	代表取締役会長
	委員	和田 晃	東洋電装株式会社	代表取締役会長
	〃	小山 大輔	日本保安工業株式会社	代表取締役
	〃	勝木 洋平	古河電気工業株式会社 横浜事業所	総務課長
	〃	山本 耕司	株式会社マック	代表取締役社長
	〃	鈴木 清	港南テクノクス株式会社	相談役
	〃	内藤 隆行	横浜セレモ株式会社	常務取締役
	〃	大瀬 雅博	大瀬工業株式会社	代表取締役社長
	〃	武居 正則	株式会社武居商店	代表取締役会長
	〃	尾田 仁	株式会社官川製作所	取締役兼執行役常務
	〃	田島 圭一	株式会社田島精研	代表取締役

委員会	役職	氏名	会社名	会社役職
政策委員会	委員長	稲村直之	有限会社稲村建具	代表取締役
	副委員長	伊藤知之	日本貿易印刷株式会社	代表取締役社長
	委員	松尾文明	株式会社松尾工務店	代表取締役会長CEO
	〃	田中秀一	メルビック電工株式会社	取締役
	〃	花本高志	株式会社ダイイチ	取締役社長
	〃	岡部郁子	岡部産業株式会社	常務取締役
	〃	達知剛志	株式会社プレスビット	代表取締役
	〃	栗原敏郎	株式会社大協製作所	代表取締役会長
	〃	安田訓	株式会社IHI 横浜事業所	総務部長
	〃	真鍋緑朗	アールグラット株式会社	代表取締役
	〃	梶田兼一	株式会社カジタ	代表取締役社長
	〃	安永平雄	イチコーエンジニアリング株式会社	代表取締役
	事業・企画委員会	委員長	長谷川浩正	日興テクノス株式会社
副委員長		向井一馬	三和化成工業株式会社	取締役生産本部長
委員		千葉護	株式会社京南	代表取締役
〃		平出晴久	ゴールドン文具株式会社	代表取締役
〃		山口喜久雄	株式会社ヤマグチレッカー	代表取締役
〃		浦野富士夫	株式会社セレバル	総支配人
〃		江藤忠勝	有限会社龍昇堂	代表取締役
〃		柳沼芳光	株式会社柳沼建設	代表取締役
〃		露木健	株式会社東芝 横浜事業所	横浜事業所長
〃		横山雅行	平和産業運輸株式会社	代表取締役
〃		平吉	三吉工業株式会社	代表取締役
〃		金子彦	三宝精機工業株式会社	代表取締役社長
〃		中山貴義	社会保険労務士事務所 古間屋	代表
広報・産学委員会	委員長	松村洋一	協立金属工業株式会社	相談役
	副委員長	向後英夫	株式会社遠藤製作所	代表取締役
	委員	山本公彦	株式会社丸屋神奈川製作所	代表取締役
	〃	磯崎洋人	神奈川トヨタ自動車株式会社	渉外広報部理事
	〃	関曙慶	曙建設株式会社	会長
	〃	菊地純恵	大坪工業株式会社	代表取締役社長
	〃	橋爪重信	新倅機材株式会社	代表取締役
	〃	寺井享	寺井印刷工業株式会社	代表取締役
	〃	鈴木徹	東京ガス株式会社 根岸LNG基地	総務部長
	〃	大村直樹	横浜鉄工株式会社	代表取締役社長
	〃	今津太郎	阿蘇工業株式会社	代表取締役社長
	〃	南川拓也	株式会社ミナミ技研	代表取締役
	雇用・環境委員会	委員長	寺嶋之朗	プリンス電機株式会社
副委員長		久保田耕二	久保田建設株式会社	代表取締役
委員		石井一登	石井建設工業株式会社	代表取締役社長
〃		榎本心	日産自動車株式会社	担当部長
〃		金子亨	日栄建設株式会社	代表取締役社長
〃		成澤宏	医療法人社団成澤会 清水橋クリニック	事務局長
〃		坂本保	株式会社坂本興業	常務取締役
〃		日野原技	株式会社村山製作所	代表取締役
〃		黒岩勉	株式会社羽後鍍金	代表取締役社長
〃		藤枝慎治	株式会社グリーン	代表取締役会長
〃		加藤豊	第一カーボン株式会社	代表取締役
〃		小西将史	株式会社ブリヂストン 横浜工場	総務部長
〃		鈴木瑞貴	株式会社オースズ	代表取締役
施策検討会	委員	小林真一	小林商工株式会社	代表取締役
	〃	三浦学	東京電力パワーグリッド株式会社 鶴見支社	支社長
	〃	佐藤正憲	株式会社高木	代表取締役
	〃	高橋幸夫	かちどき特許事務所	所長
	〃	高木康志	高木特許事務所	所長
	〃	高野一哉	有限会社高野塗装	代表取締役
	〃	湯川純	株式会社ヘルツ	代表取締役
	〃	榎間幸	シナノ紙工業株式会社	代表取締役
	〃	工藤圭亮	昭和建設株式会社	代表取締役社長
	〃	田口真弘	株式会社金剛コルメット製作所	総務部次長
	〃	児玉聖司	株式会社ワン・ツー・ストック	代表取締役
	〃	増田孝一	岡谷セイケン株式会社	代表取締役社長
	〃	加藤亮	株式会社ホープ	代表取締役
	〃	加藤高智	有限会社工研	代表取締役
	〃	西端望	一般社団法人LTRコンサルティングパートナーズ	中小企業診断士
	〃	藤澤秀行	株式会社ニッソー	代表取締役

令和5年度

横浜市工業会連合会 事業計画

横浜市工業会連合会（市工連）では、令和5年度（2023）、「Ⅰ ものづくり活性化事業」、「Ⅱ 産業振興施設の管理運営」、「Ⅲ 市工連及び地域工業会の活性化」、「Ⅳ 法人運営（法人会計）」の4つの柱で事業を進めます。

I ものづくり活性化事業

[26,979千円]

1 販路拡大事業

神奈川県下を対象にした大型商談会の開催のほか、受発注情報の整備・充実を図り販路拡大を促進し、第45回工業技術見本市「テクニカルショウヨコハマ2024」では、成長産業分野の振興や小規模企業の需要開拓など機能充実を図ります。

(1) 商談会等の開催

（公財）神奈川産業振興センターと共催等で受発注商談会を開催します。

ア 受発注商談会 「オール神奈川」

開催方法：オンライン

イ 受発注商談会 「テクニカルショウヨコハマ2024」に合わせて開催

開催方法：リアル及びオンライン

(2) 工業技術見本市「テクニカルショウヨコハマ2024」の開催

（公財）神奈川産業振興センター、神奈川県、横浜市との共催で工業技術見本市を開催します。

開催日：令和6年2月7日（水）～9日（金）

開催方法：リアル及びオンライン

(3) 横浜ネットワークプラス（受発注情報システム）の運営

※ネットワークプラスとは

市工連ホームページにおいて、事業内容・製造能力・技術等に関する登録会員企業のPRをし、発注企業や研究機関等が登録企業を業種別・加工種別・キーワード別に検索・閲覧できるシステムで企業のビジネスチャンス拡大を促進します。

(4) 横浜市との事業連携

横浜市が経済成長戦略として進める、I・TOP横浜やLIP横浜、オープンイノベーションなどの施策を会員へ周知し、市と連携し事業を推進します。

2 ものづくり人材育成支援事業

(1) 新入社員合同研修

マナー研修のほか、「帆船日本丸」でのマスト登りや舳先渡り、甲板磨き、結索等の訓練による合同研修で、チャレンジ精神や協調性を養成し、企業の将来を託せる人材を育成します。

日程：令和5年4月5日（水）～6日（木）

会場：帆船日本丸及び同訓練センター

(2) 新入社員等フォローアップ研修・交流会

今年度入社された新入社員や中途採用で入社された方など、入社2年目までの若手社員を対象に、会社の戦力として活躍する人材育成と、参加者の同世代ネットワークの形成を支援します。

(3) 就職に関する懇談会の開催

県立高校等の進路指導担当教員と市内中小企業の経営者や採用担当者等を対象に、横浜市及び公共職業安定所との共催で、企業の採用情報や生徒の就職状況等の情報交換（懇談会）を開催します。

日時：令和5年6月15日（木）14：00

会場：横浜産貿ホール マリネリア

(4) ものづくりの魅力を伝える事業

ア 出前講座の開催

経営者や技術者が、高校生・大学生や職業訓練生に対し、中小企業の仕事ややりがいについて講演します。

イ 工場見学会の開催

就職指導教員と高校生・職業訓練生等を対象に市内中小企業の工場見学会を開催します。

ウ ものづくり企業紹介フェアの開催

神奈川県内の高校生を対象に、中小企業経営者の講演会及びテクニカルショウヨコハマ見学会を実施します。

(5) 技術者育成支援事業

中小製造業の礎となる人材育成、社内の技術力向上、技術承継の推進のため、従業員の技能資格取得に対して、受検等にかかる費用を助成します。

(6) 多様な人材活用の支援

製造業をはじめとする市内中小企業の人材確保を支援するため、女性、高齢者、外国人など多様な人材の活用に関する情報提供を実施します。

(7) 横浜市就職サポートセンター事業への協力

若者層等の就職支援として、横浜市が実施する「横浜市就職サポート事業」インターンシッププログラムの受入企業募集に協力します。

(8) 中小企業の人材確保支援事業

製造業をはじめとする市内中小企業の人材確保を支援するため、横浜市経済局等と連携して事業を推進します。

II 産業振興施設の管理運営

【86,073千円】

1 試作用賃貸スペース（鳥浜トライ&トライアルステージ）事業

同スペースで新製品の開発や新規事業分野への参入を図る中小製造業を支援します。

- ・所在地：横浜市金沢区鳥浜町16-6
- ・施設内容：全5区画（1,265㎡）

2 横浜産貿ホール（マリネリア）の管理・運営事業

横浜産貿ホールを管理・運営し、産業と貿易に関する見本市や展示会などの開催の場を提供することで、県・市内の産業の発展を支援します。

- ・所在地：横浜市中区山下町2番地
産業貿易センタービル
- ・施設内容：1F 展示場（1,630㎡）、
2F 小展示室（70㎡）

III 市工連及び地域工業会等の活性化の取組み

【10,433千円】

1 5つの委員会を設け、各種事業を検討・実施

- 総務委員会
- 政策委員会
- 事業・企画委員会
- 広報・産学委員会
- 雇用・環境委員会

2 地域工業会及び横浜青年経営者会の活動支援

3 基盤整備事業

(1) 横浜市等と当連合会との施策検討会の運営

(2) 「令和6年度横浜市予算に対する産業振興に関する要望書」を策定・提出

4 すぐれたアイデア提案者表彰

会員企業における、技術開発、生産性の向上、経費節減等において「すぐれたアイデア」を提案し、企業の発展に貢献した従業員を顕彰します。

5 会員企業等のネットワークの活性化

- (1) 会員企業間の情報交換の場の創出
- (2) 各委員会の交流の活性化

6 情報発信事業

(1) インターネットの活用

ホームページ、メールマガジン等でタイマーに情報提供します。

(2) 機関誌等の発行

ア 機関誌「よこはま市工連」を年2回発行し、各種情報提供と会員の交流を図ります。

イ 情報紙「市工連かわらばん」を年6回発行し、各種事業について周知を図ります。

7 会員サービス事業

「災害共済」などの各種福利厚生事業を実施するとともに、市工連独自のPL保険への加入を促進します。また、団体割引等の取りまとめなどを実施します。

IV 法人運営（法人会計）

【6,773千円】

総会・理事会の開催などにより、市工連を運営します。

地域工業会 新会長ご挨拶

南事業会 会長 山本耕司 様（株式会社マック 代表取締役社長）

❖会社経営について

南区に本店を置き、港南区にもう1店舗、今年50年の歴史を持つ作業用品専門店を営んでおります。

このコロナ渦の中、建設現場の減少、現場の人数制限、工事ストップなどわが社にもかなりのダメージがありました。ですが地域工業会の仲間や周りの皆様に支えられ何とかここまでやってこられました。

今年は、コロナも5類に移行し少しは世の中が修復に向かうのかなと思った矢先、諸物価の上昇などで中々元どおりには行きません。

そんな不安定な時代でも前向きにとらえ、常に売り手ではなく、買い手の気持ちを考えてお客様ファーストをモットーにこれからも前進していきたいと思います。

❖南事業会について

横山前会長の後を引き継ぎ、これから2年間会長としてやっていくわけですが、前会長が色々なところに顔が利くスケールが大きい方でしたので不安が山ほどあります。前会長の足元にはまだまだ及ばないですが、自分なりのカラーを出して新生事業会をスタートさせていきます。

まず私が取り組むのは、やはり会員増強でござ

います。南事業会として今までとは違った企画運営（例えば近隣の諸団体とのコラボとか）をして、南事業会としてだけではなく地域全体で盛り上げて、会員企業100社をめざし頑張っていきたいと思っております。

❖自身について

毎朝4時から20分間ジョギングをして会社に出勤しております。それと毎週仲間とゴルフに行きストレス解消に努めております。

ジョギングに関しては、やめようと思えばいつでもやめられる、自分の気持ち次第だと思っておりますが、一度決めたことを貫き通す意思の強さこそが成功の道だと自分自身に言い聞かせ、頑張っております。



◆市工連事務局の紹介◆



令和5年4月1日から浅葉 一幸（総務部長）と中根 恵（主事）が新たに加わり、新しい体制となりました。

引き続き、会員企業の皆様へ適時・適切な情報提供に努めて参りますので、今後ともよろしくお願ひします。

前列左から浅葉総務部長、見上専務理事、中根主事
後列左から川崎さん、斎藤さん、伊澤課長、植松課長

「テクニカルショウヨコハマ 2023」が 開催されました

2月1日（水）～3日（金）までの3日間、パシフィコ横浜展示ホールで「リアルに出会う。リアルに感じる。」をテーマに、最先端の技術・製品が一堂に会する、首都圏最大級の工業技術・製品に関する総合見本市「テクニカルショウヨコハマ2023」が開催されました。

759社（昨年554社）の企業・団体が出展し、15,827名（昨年8,407名）の来場者があり、コロナ禍前の賑わいを取り戻しつつありました。

会場内で最大のスペースの「横浜ものづくりゾーン」には、市工連会員企業の方も多く出展していただきました。



開会式テープカット

●開催概要

- 【会 期】 リアル展示：令和5年2月1日（水）～2月3日（金）
Webサイト内展示：令和5年1月10日（火）～2月28日（火）
- 【会 場】 リアル展示：パシフィコ横浜展示ホールA・B・C
Webサイト内展示：公式ホームページ
- 【開催規模】 759社・団体〈リアル732社、Webサイト27社〉（前年度：662社・団体）

●来場者数

- 【リアル展示】 15,827名
【Webサイト内展示】 アクセス者数 8,758名 ページビュー数 357,218ページ

●次回は令和6年2月7日（水）～9日（金）開催

令和4年度 新入社員フォローアップ研修

令和5年2月24日（金）に新入社員等若手社員フォローアップ研修を実施しました。この研修は、入社後を振り返り、自分の仕事の進め方を再認識するとともに、自分の強みや課題を客観的に認識し、前向きなマインドを構築するとともに他社の同年代の人

たちと交流することを目的に開催しています。受講生の皆さんが、前向きなマインドを持って職場で活躍することを期待しています。今年は8社12名の参加がありました。

【研修カリキュラム】

- <午前> ○入社後を振り返って自分の仕事の進め方を再認識する
○自分の職場を振り返って仕事上の問題点や克服法を参加者で共有する
- <午後> ○クレーム対応の実践でビジネスマナーに基づく話し方の再認識
○ハイポイントインタビューで自分の強み課題を客観的に認識する
○前向きなマインドの構築のために、「信念を言葉化」する



令和5年度(第36回)新入社員合同研修

今回で36回目を迎える市工連主催の「新入社員合同研修」。帆船日本丸の海洋教室の訓練を含む合同研修によってチャレンジ精神や協調性を養い、企業の将来を託せる人材を育成することを目的として、4月5日(水)～6日(木)に開催されました。

昨年までは新型コロナウイルス感染拡大防止や日本丸の改修のため、日本丸での宿泊体験を休止しておりましたが、4年ぶりに1泊2日の研修となりました。

今回は18歳から25歳までの10社32名(男性28名、女性4名)が参加。研修では、講義やグループワークでビジネスマナーを学ぶとともに、ロールプレイで電話応対や役割を決めての報連相を行いました。夕食前には日本丸に宿泊するための居室準備(ボンク(ベット)メイク)を二人一組で行い、夕食後にも講義を行いました。

また、「帆船日本丸」の海洋教室として、日本丸のビデオ鑑賞や船長の講話を聴くとともに、朝の甲板磨き、マスト登り(登檣:とうしょう)訓練、船首渡り(バウスプリット)訓練、ロープ結び(結索)訓練に参加しました。マスト登りでは、ヘルメットやハーネスを装着し安全にも十分配慮し実施しました。また、テレビ神奈川(TVK)の取材が入り、訓練の様子が夕方のニュースに流れました。日本丸での研修ならではの体験を皆さんもとても楽しんでいただようです。

この研修は、受講生の皆さんや参加企業様の満足度の高い研修ですので、来年度も是非ご参加ください。今回は参加企業にアンケートをお願いいたしました。(11頁)



<研修カリキュラム>

《第1日目》 4月5日(水)	午 前	* 開講式(加藤市工連会長他の挨拶) * マナー研修(講義、グループワーク、ロールプレイ)
	午 後	* 船内見学/日本丸のビデオ鑑賞 * 登檣訓練(マスト登り)、バウスプリット(船首渡り) * 電話応対、報連相(講義、グループワーク、ロールプレイ)
《第2日目》 4月6日(木)	午 前	* 甲板磨き * 船長の講義「帆船を用いた研修の意義」
	午 後	* 結索訓練、みなと博物館見学(強風によりカッター訓練が中止されたため) * 感想文作成、口頭発表会 * 閉講式・認定書授与

●●● 市工連 新入社員合同研修を受講して ●●●

() 内は所属する地域工業会

会社名・50音順

海洋電子工業株式会社

(横浜市金沢団地協同組合)

長谷川 由姫さん

2日間にわたる新入社員合同研修会も終わりが近づいてきました。この2日間は朝から晩までみっちりスケジュールが組まれ、2時間を超える講義や訓練など、決して楽ではありませんでしたが、学ぶものが多くありました。

まずは新社会人として身に付けておくべき数々のビジネスマナー、名刺交換や訪問・来客に関しては、今までの経験が無く初めて知るばかりでした。また、アルバイトで何度も電話応対をしたことがあるにもかかわらず、WSでは上手な受け答えができなかったのを不甲斐なく感じました。しかし、電話応対や名刺交換は、何度も数をこなすことでマナーも次第に様になっていくのだと思います。細かいルールもたくさんあり、講義中にはメモも追いつかないほどでしたが、研修で習ったことを忘れず、1年後には後輩の手本となれるようにしたいです。

今回の研修ではもう1つ、船上の生活に関する理解が深まりました。ついぞ叶うことはありませんでしたが、私は船乗りを目指していた時期がありました。その頃にインターネットで調べ見たことが実際

に体験できるなど、3月までは夢にも思いませんでした。登橋訓練や船室での寝泊まり、甲板磨きはとても貴重な経験でした。特に船室のベッドは狭いと聞いていましたが、普段のベッドよりも小さいだけで、しっかり脚を伸ばせし、ぐっすり眠ることもできたというのが意外で心に残っています。

そして最後に、今回の研修では自分の会社以外の多くの同期の人たちと知り合うことができました。多様な環境から集められた人たちと話をするのはとても楽しかったです。また、自分のようにこれから社会人として生活していく仲間がたくさんいることを知って、頼もしく感じるとともに、勇気をもらいました。2日間という短い間でしたが、ありがとうございました。



海洋電子工業株式会社

(横浜市金沢団地協同組合)

田子 碧馬さん

今回の新入社員合同研修プログラムでは、様々な経験をいたしました。

ビジネスマナー講習では、ただ聞くだけでなく、体を動かしたり、グループで取り組むことで、実際の状況を想定した経験をすることができました。あいさつの時の礼の角度や敬語の使い方は、改めて確認すると間違っているところが多くあり、意識して直していかなければいけないことを学びました。電話対応では、自分の声をボイスレコーダーで録音し、再生してみると、抑揚がほとんどなく、ひげ言葉が



多くあることを知り、今後の課題を見つけることができました。報告・連絡・相談については、頼まれた事に対して5W4Hができておらず、他人に伝えた時に詳細を聞かれて、わからず頼んだ相手に何度も

聞きに行くことになってしまい、メモの取り方や何を聞いたほうが良いのかを、頼まれたタイミングでまとめる力が必要であることを学びました。

日本丸での研修では、マストへの登樁や、船内での寝泊まり、朝の甲板磨きといった貴重な経験をさせていただきました。マストへの登樁では、ただ登るだけでなく、登る前に受けた指示の三点支持を意識することで、目的をもって登ることができました。船内での寝泊まりは、横幅が狭く、寝返りができないことで寝られないのではないかと不安がありました

が、しっかりと寝ることができました。朝の甲板磨きは裸足で行い、水の冷たさで足の感覚がなくなりかなり大変な作業でしたが、終了後の達成感がありました。

今回の研修で学んだこと、経験したことを今後の社会人としての生活で意識して実行できるよう努力していこうと思います。

最後に、今回の研修で知り合った他企業の同期の方々とは今回限りでなく長い関係になっていきたいと感じました。

三波工業株式会社

(一般社団法人横浜金沢産業連絡協議会)

平手 匠悟さん

私は新入社員合同研修会において「同じ目標に共に進み続ける」ことの大切さを学びました。研修会ではビジネスマナーについての講義だけではなく日本丸での訓練や共同生活を同時に体験することによって協調性を高めることができました。

講義では社会人として必要不可欠であるビジネスマナーをシチュエーション別に学ぶことによって自分の会社の中のみならず他社やお客様の所に出向いた際にも活かしていける実践的なマナーを身に付けることができました。私はこの経験を活かして明日の入社から正しいビジネスマナーを用いて会社の同僚や上司そしてこれから出会うであろう先輩や出先の様々な人々に敬意を持って接し、常に成長し続けたいです。

また、研修会で身に付けた協調性は私にとって一生忘れられない宝物です。会社では常に楽しいことばかりではなく苦しいこともあるでしょう。しかしこの研修会から学んだことそして経験したことなら



突破口を見出し、周りにはいる最高の仲間たちと協力してチームとして成長して壁を乗り越えていきます。

最後にこの研修会に参加した約30名の同期そして運営職員の方、講師の先生には深く感謝します。皆様のおかげで私は成長することができました。私は前職の海上自衛隊では大きなことは何一つできずに終わってしまいました。そして3年の時が過ぎましたが、私にはここ横浜の地から再び社会人として出発し、自衛官時代にできなかったことをできたに変え、なさない自分を変えていくつもりです。二日間で成長し今後の目標が定められたのでこの研修会を良い結果で終わらせることができたと思います。

株式会社ニットー

(横浜市金沢団地協同組合)

渡邊 ひかりさん

今回の新入社員合同研修では、研修全体を通して他社の方と接する機会が多く、良い刺激を受けたとともに周囲の人と協力して働く上でのコミュニケーション能力について考えるきっかけになりました。

特にビジネスマナーの講習で班ごとに話し合った際にその2点を強く感じました。私は今までディスカッションの経験が少なかったせいか、はじめのうちは意見があまり思いつかない状況が続いてしまいました。そんな中、他の方の意見を聞いていると一つの物事を多面的に観察できている意見を聞くことができ、自分の視野の狭さに気づかされました。今後は世の中の様々なことに目を向け、自分でもその

物事に対して考察する癖をつけられるよう努力したいと思います。また、ビジネスマナー講習でのロールプレイや船上での訓練の際、自分がどの程度動いてよいのか判断ができにくく、あまり積極的に動けなかった印象を受けました。周囲の様子を把握し、積極的に動く能力は今後の社会生活で特に重要だと考えられるので、今後業務の中や日常生活の中で常に周囲に気を配れるよう気を付けていこうと思います。

今後は今回の研修で発見した自分の課題に向き合い、人の役に立てる社会人になれるよう精進していきたいです。



ニッパ株式会社

(一般社団法人横浜北工業会)

櫻井 龍さん

今回、新入社員合同研修に参加させていただいた感想は同期と言っても、初めましての方々と交流するのは、とても緊張しました。しかし、社会人として人見知りには私にとってよくないと感じ、積極的に話しかける努力ができ、もし、この研修に参加していなければ、成長したことが分からないままだったのかと感じます。

ビジネスマナーの際、チームで実践練習が多くあり、他者との考え方や価値観の違いが分かりました。電話対応の練習では、自分の声が聞けるという貴重な経験もでき、もっとトーンや声量、口を大きく開いて相手との電話会話をしないといけないと、今後の課題点が見つかり、良い講義を受けることができたと思いました。

ビジネスマナーの講義の中で一番印象深いのは、最初にチームで行った、「ビジネスマナーはなぜ必要か」を付箋に書き貼ったことです。全員がチームに一丸となり協力をしていて、会社でも力を合わせていけば良い結果を残していけるんだと思いました。これが私の中で一番印象深かったことです。

日本丸という、大きな船に乗り、たくさんの歴史を知ることができました。登橋訓練では恐怖に打ち勝てず、見学となってしまいましたが、みなさん一生懸命に登る姿は、カッコいいを越えて美しさまでも感じました。私もやっておけばよかったと後悔も

ありました。やっておけば良かったとならないように、何かチャンスが来た際には、恐怖や心配を捨て、挑戦をしていきます。

最後に研修と聞き、固くなっていましたが、みなさんが明るくフレンドリーに接してくださったおかげで、とても楽しい時間が過ごせました。ありがとうございます。

ビジネスマナーで講師をしていただいた佐々木様をはじめとする日本丸船長、船員の方々に感謝申し上げます。



株式会社野毛電気工業

(一般社団法人横浜金沢産業連絡協議会)

鈴木 雄介さん

今回の研修で、私は会社とは何か、社会人になるとはどんなことなのかを座学と実演形式の練習を通して学びました。

座学では主にビジネスマナーの基礎を教えてくださいました。ビジネスマナーを身につける意味は自分の印象が良くなること、会社の売上げが上がることであると考えておりました。自分の考えは間違っていないと思っていましたが、グループで討議を行う中でビジネスマナーはコミュニケーションの一つであり、組織の結束力や親密度が上がることで仕事が効率化されるという意見が挙げられていました。自分は個人のことと結果のみを考えていましたが結果にたどりつくまでの過程について深くまで考えがおよんでいませんでした。結果だけではなくそれまでのプロセスや手段を探し、その都度最適だと考えられるものを選択していくことは重要であると感じました。

実演形式の練習では主に電話対応や訪問時の対応、報告・連絡・相談について実際に声に出し、自分でメモを取りながら相手に伝える練習を行いました。



た。電話対応で録音した自分の声を聞くと、ビジネスマナーの講義で他グループの方々に言われた、声が小さいこと、感情表現が乏しいこと、に納得することができました。声が比較的低いことも考慮して電話では特に視覚からの情報がありませんから声の高さ、抑揚に気を付けなければいけないと感じました。

報告・連絡・相談を正確に行うために必要なのはメモですが、正しく書こうとすると時間がかかって次の情報が聞き取れない箇所がありました。落ちついて聞き直すことも大切ですが、平仮名や記号を利用し簡潔にまとめられるようになることが重要であると実感しました。

この経験を活かせるように仕事にとりかかりたいと思いました。

新入社員合同研修会事後アンケート

6社/10社回答

1 今後もこの研修会を利用しますか

①利用する 6 ②利用しない 0 ③無回答 4

2 新入社員に研修を受けさせたことについて

①良かった 6 ②悪かった 0 ③無回答 4

ご意見（感想文は読み手がいることを伝えて丁寧に書くことも指導してほしい）

3 研修内容について（複数回答OK）

〇の数

- | | |
|--------------------------------|---|
| ①日本丸ならではの訓練が良い（マスト登り等） | 5 |
| ②マナー研修が良い | 3 |
| ③ロールプレイやグループ討議が良い | 3 |
| ④日本丸の宿泊が良い | 1 |
| ⑤他社の新入社員との交流が良い | 5 |
| ⑥感想文に講師のコメントを付けて返されるところが良い | 3 |
| ⑦記念写真や研修中の様子を撮影したCDをもらえるところが良い | 2 |

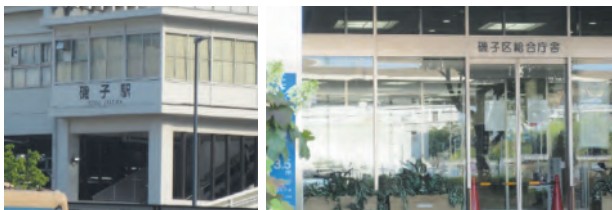
4 今後の参考とさせていただくために新入社員合同研修に対するご意見・ご感想、期待すること等をぜひお聞かせください。

- ・みなとみらいの見学を入れてほしい
- ・研修内容はもちろんですが、貴重な体験が多く、参加した本人達にとっても忘れられない2日間になったと思います
- ・マナー研修の内容などは、他の研修で行っているものと大きく違わないと思うため、やはり日本丸ならではの訓練を体験できるのがいいと思う
- ・マナー研修だけでなく、日本丸だけの他では体験できない内容ができて良いと思います

地域工業会 事務局訪問

■磯子事業会

磯子事業会の事務所はJR 磯子駅下車徒歩5分、磯子区役所内7Fにあります。



磯子事業会は昭和48年4月に設立され、地域社会の発展や地域振興、企業の発展や事業者の連携・交流をはかることを事業目的として、運営されてきました。

また平成29年10月には磯子区との間で、相互の連携を強化し、区民サービスの向上を目的とした「地域活性化に関する包括連携協定」も締結しています。

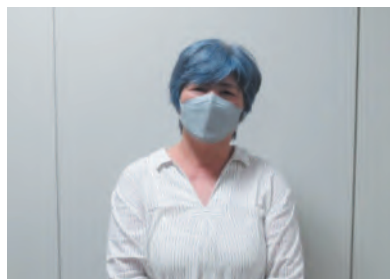
会長は日興テクノス株式会社代表取締役社長である長谷川 浩正さん、事務局長は今年で13年目

となる齊藤 慶子さんです。

9月の最終日曜日に行われる磯子まつりへの参加協賛や今年5月で第232回のコンペとなった50年以上の歴史を持つゴルフの会『新和会』など、会員同士の交流も盛んに行われています。

また、磯子事業会は特に区との活動が密で、行政と企業の橋渡しの存在でもあります。

今年も磯子まつりはもちろん、横浜マラソンの沿道清掃など、コロナ禍前同様に通常業務を皆で集まって、地域に貢献していきたいとのことでした。



写真は事務局長の齊藤さん

■一般社団法人横浜金沢産業連絡協議会

一般社団法人横浜金沢産業連絡協議会（以下、産連協）の事務所は、シーサイドラインで産業振興センター駅下車出口1から徒歩2分の横浜市金沢産業振興センター東館の2階にあります。



産連協は、16ブロックから構成される金沢産業団地に立地する企業の相互連携と団地産業の振興・発展、企業従業員の福利厚生の実現を目的として、平成8年10月に3つの団体がひとつに統合され設立されました。

なかでも金沢産業団地の秋まつり「PIA フェスタ（ピアフェスタ）」は近隣従業員や住民を含め毎年盛大に開催されており、金沢産業団地の製品販

売や団地企業の自慢の取組などを発表するPIA ビジネスグランプリなどによって、地域を大いに盛り上げています。

会長は6月21日の総会で平和産業運輸株式会社代表取締役の横山 雅行さんとなり、事務局長は今年で5年目を迎える木村 和夫さん、また4月から藤田 巳幸さんも一緒に働いています。

会員は約500社で、現在も増加中とのことですが、旧3団体から受け継いだ事業継続に関しての財政面の健全化が、これからの課題と話されました。



写真は事務局長の木村さん

「令和5年度横浜市予算に対する産業振興に関する要望について」横浜市からの回答

市工連では昨年秋、令和5年度の横浜市の予算編成に向けて、市内の産業振興を図るための政策提言及び要望をまとめ、要望書として提出しました。

このたび、横浜市から要望に対する回答がありました。重点要望の回答要旨のみ掲載しますので、全文については市工連のホームページをご覧ください。

【重点要望】

I 販路拡大

1 横浜市の認定・認証制度

- (1) 各認定・認証制度が連携した企業のブランド力を高める取組の推進及びインセンティブの拡充

【回答】

- ・「グランドスラム企業表彰」は、1事業者あたり1回限りの表彰なので、等級化は考えていない。
- ・表彰自体をPR材料としていただきたい。

- (2) 認知度向上と魅力の発信

【回答】

- ・模範となる取組事例を中心に紹介するなど、各制度の認知度を向上させ、制度の魅力を発信するためのプロモーションを引き続き実施

- (3) 認定・認証の継続にあたっての手続きの簡素化及び負担の軽減

【回答】

- ・「よこはまグッドバランス賞」、「横浜健康経営認証」では、認証申請に電子申請システムを活用し、利便性向上に取り組んでいる。「地域貢献企業認定制度」では、更新期間の長期化を図るなど、認定・認証企業の負担軽減を図っている。

2 展示会・商談会

- (1) 受発注機会の拡大

【回答】

- ・共同主催者である市工連と連携し、より多くの大手企業に発注側企業として参加してもらうよう取り組む。

3 公共事業発注の仕組み

- (1) 横浜市の認定・認証企業へのインセンティブ発注

【回答】

- ・「横浜型地域貢献企業」に対して、インセンティブ発注を実施。インセンティブ発注については、引き続き検討

- (2) 地元企業が数多く参加する異業種JVの推進

【回答】

- ・令和4年度設立した「横浜PPPプラットフォーム」において、公共建築物等の整備・運営に関連する、建設業をはじめとした市内外企業を対象としたセミナーや勉強会、ビジネスマッチング等を継続的に開催し、市内企業等の情報交換とネットワーク形成を促進することで市内企業がPFI事業等により参画しやすくする。

- (3) 適正価格での発注と作業環境の改善対策

【回答】

- ・受注者あてに適正な下請契約の締結、下請業者に対する代金支払い等の適正化などについて記載したものを契約書と併せて送付
- ・本市発注工事においては、管内一円工事等の一部の工事を除き、原則週休2日を前提とした実工期の算出に加え、準備期間及び後片付け期間を考慮するなど、適正な工期設定の取組を進めている。
- ・令和元年度から工事現場の熱中症対策に係る経費に関して、現場管理費の補正を実施

- (4) 物品・委託契約における最低制限価格等の導入

【回答】

・最低制限価格については、継続的に履行する業務で、人件費等の占める割合の高い業務や市民の生活環境に関わる業務において、競争の激化による落札率の著しい低下やそれによる履行の品質が確保できないおそれがある場合に、導入している。現在、導入していない契約については、入札状況及び契約の履行状況等を検証

II ものづくりの活性化に対する支援

1 中小企業の経営支援

(1) 経済局の実施する中小企業支援制度

【回答】

- ・「横浜市中小企業振興基本条例」に基づき、施策を実施。中期的な計画としては、生産性や競争力の向上に不可欠な脱炭素化やデジタル化などへの新たな挑戦を支援する。
- ・助成金について、申請手続きの電子化で手続きの簡素化を実施。引き続き、迅速な助成金の支出に向けて改善を進める。

・令和5年3月から本市のLINE公式アカウントを利用して、中小企業支援策等の発信

(2) ウイズコロナ、アフターコロナを見据えた経済対策

【回答】

- ・引き続き、設備投資の助成をはじめとした様々な支援制度で支援
- ・各企業の実態にあったIT・IoT化を促進するために、「公益財団法人横浜企業経営支援財団」と連携して専門家を派遣し、導入経費の一部助成を行うことで、相談から導入、アフターフォローまで一気通貫で支援
- ・令和元年台風第19号を事由とした「災害関係保証」の指定期間は、令和4年4月30日をもって終了した。新型コロナウイルス感染症を事由とした「セーフティネット保証4号」の指定期間は、令和5年3月31日までであるため、その延長について神奈川県を通じ、国に要請していく。

ハイエースのお任せください!

新車はもちろん、今お乗りのお車の架装・カスタム・車検も
トヨタ正規ディーラーの私たちにご相談ください!



415コブラ
取扱中!

ハイエースカスタムブランド
取扱い商品は車検対応です

来場プレゼント

“よこはま市工連を見た”とお伝えください!!

ロゴ入り
オリジナルタオル



〈架装例〉

※写真はイメージです



ウエイズトヨタ神奈川のハイエース専門店
ワークピット横浜

TEL.045-938-7022

店舗詳細は
こちら▶

横浜市都筑区池辺町4661ららぽーと横浜近く 緑産業道路沿い



市工連からのお知らせ

横浜市就職サポートセンター事業 ～インターンシップ受入れ企業募集～

横浜市就職サポートセンターでは、採用意欲のある企業様と、再就職に意欲のある方との橋渡しを行っています。インターンシップを通して採用した人材は定着率が高いとのこと、是非ご活用ください。



インターンシップ受入れにご興味のある企業様は、ぜひ就職サポートセンターにご連絡ください。

〔就職サポートセンター〕 横浜市中区万代町2-4-7 横浜市技能文化会館3F
TEL 045-548-3132

技術者育成支援事業のお知らせ

市工連では、「技能士」となるための、技能検定の受検費用を負担した市工連会員企業に対し、受検手数料や受検前に受けた講習会の費用などについて補助しています（学科、実技の両方に合格した場合）。

今年度もこの「技能士」になるために受検費用等を負担した企業に対し補助いたします。

※「技能士」は、技能検定に合格した人に与えられる国家資格です。

今年度は前期・後期の申請が出そろった10月2日(月)に受付を開始しますので、受検票の写しや、領収書の保管等をお願いいたします。

申請受付は、先着順とし、予算に達した時点で募集を締め切ります。

お問合せ (一社) 横浜市工業会連合会 TEL 045-671-7051



◆ 会員情報交換 ◆

AIがメーターを読み取り
記録の手間と誤点検を減らします

工場・ビルの設備点検に
moni-Meter

株式会社ジェイエスピー
横浜西区高島 2-6-32 横浜東ロウスポーツビル 11F
TEL: 045-444-3470 E-mail: moni-meter@jspnet.co.jp

モニメーター 検索

産業用ロボットの教示等の作業に係る
特別教育 セミナー

!!! 受講生募集中 !!!

〒244-0813 横浜市戸塚区鶴岡町405番地
資料請求・お問い合わせは
robo-seminar@sanpo-seiki.com

SANPO 日本ロボットシステムインテグレーター Sier
三宝精機工業株式会社

合同就職面接会のお知らせ

採用活動で 悩まないでください。

求人広告って
年間幾ら？

人材紹介は
手数料が…

その悩み**Reチャレ!**がお手伝いします!!

神奈川県主催



かながわ合同就職面接会

出展料・紹介手数料等すべてが無料

神奈川県内に
事業拠点のある企業限定

出展企業募集!!

神奈川県合同就職面接会事務局

☎ 0120-703-785 (平日) 9:00-17:00

✉ kanagawa_gosetsu@os.tempstaff.jp



かながわ面接会

検索

[主催] 神奈川県産業労働局 労働部雇用労政課

[受託会社] パーソルテンプスタッフ株式会社 ※本事業は神奈川県の委託を請けてパーソルテンプスタッフ株式会社が運営しています。

横浜市からのお知らせ

GREEN×EXPO 2027（2027年国際園芸博覧会）の開催について

4年後の2027年、一都三県で初めて、日本では7回目の開催となる万国博覧会「GREEN×EXPO 2027（グリーン エクスポ ニーゼロニーナ）」（2027年国際園芸博覧会）が横浜市で開催されます。

GREEN×EXPO 2027では、圧倒的な花と緑で来場者をお迎えするとともに、地球温暖化、生物多様性の損失や食料危機といったプラネタリー・バウンダリー（地球の限界）を意識し、自然・人・社会が共に持続するための最適解、自然を活用した解決策、GREENの力と産業活動が融合した姿を世界へ発信していきます。

具体的な参画メニューやコンテンツ等、計画の進捗に合わせて今後も適宜、情報をお知らせします。

GREEN×EXPO 2027（2027年国際園芸博覧会）の概要

■名 称：2027年国際園芸博覧会

International Horticultural Expo 2027, Yokohama, Japan

■開催場所：旧上瀬谷通信施設（神奈川県横浜市）

■開催期間：2027年3月19日（金曜日）～9月26日（日曜日）

■博覧会区域：約100ha（うち、会場区域80ha）

■クラス：A1（最上位）クラス（AIPH承認+BIE認定）

■参加者数：1,500万人

- ・地域連携やICT（情報通信技術）活用などの多様な参加形態を含む
- ・有料来場者数：1,000万人以上



公式HP

詳細は、公式HPをご覧ください。<https://expo2027yokohama.or.jp/>

経済局LINE、令和5年3月から発信開始！

LINEでビジネス情報をお届け！

ビジネスに役立つセミナーや補助金募集、イベントなどの経営支援情報を、横浜市から随時LINEにより発信していますので、是非ご登録ください。
なお、これまでのメールマガジン「企業支援@ヨコハマ」も引き続き発信していきます。

< LINE登録手順（スマートフォンから）>

「追加」又は「友だち追加」を選択

メニューから「受信設定」を選択

「ビジネス」を選択

「経営支援」を選択し、「登録」して完了

二次元バーコードの読み取りによる登録

または、LINEアプリ内の「ID検索」でも登録できます。

<検索ID>
@cityofyokohama

< メールマガジン「企業支援@ヨコハマ」の登録はこちら>



<https://ml.city.yokohama.lg.jp/sympa/info/y-keizai-news>

「二次元バーコード」又は「URL」にアクセスして「読者登録」の手続きを行ってください。

制度の詳細は、横浜市HPをご覧ください。

スピードと几帳面

私たちは、五分野でフロとしての矜持を胸に刻み、横浜市優良工事請負事業者の名に恥じめよう、神奈川全域でお客様満足度No.1を目指します。



KIRIGAYA CORPORATION
 桐ヶ谷工業所



本 社 : 〒221-0044 横浜市神奈川区東神奈川2-49-16
 TEL:045-461-0471 / HP: <http://www.kirigaya-eng.co.jp/>
 川崎事業所 : 〒210-0869 川崎市川崎区扇島1-1 JFE構内
 ベトナム支社 : ベトナム ハノイ ティスカバリー コンプレックスタワー17F

(株) マック

作業服・安全靴・着衣料・工具は横浜の
マックにご用命ください！

平日5時半から開店！マックだから安心！

2店舗で営業中

【本店】(年中無休)

横浜市南区吉野町 2-4-2

☎ 045-315-2120

月～土・祝 5:30 ～ 20:00

日曜日 9:00 ～ 17:00

【港南店】(土曜定休)

横浜市港南区日野中央2-3-10

☎ 045-847-0951

平日 5:30 ～ 20:00

日・祝 9:00 ～ 17:00





氷点下の 三ツ矢サイダー



**MITSUYA
CIDER**

-5.0°C

凍る直前マイナス5°C

キンキンの冷たさ&シュワシュワな炭酸感を
楽しめる三ツ矢サイダーです!

フリージング現象※

マイナス5°C前後という温度帯をはじめとした一定の条件下において、
キャップ開栓後、液体が徐々にシャーベット状に凍っていく
フリージング現象が起こる場合があります。

※フリージング現象は、一定条件を満たさない場合や外気温等の環境によって起きない場合があります。

自動販売機の御用命は、下記まで宜しくお願い致します。

アサヒ飲料販売株式会社 横浜北支店

神奈川県横浜市
港北区新羽町1150-1

Tel 045-543-8181

100年のワクワクと笑顔を。

アサヒ飲料